



令和6年度「一人一人の可能性を広げ伸ばす」 足立区立千寿桜堤中学校 学校経営プラン



令和6年4月1日
足立区立千寿桜堤中学校
校長 齋藤 由美子

めざす教師像

- ・教職としての専門性を高める教師
- ・自他の人間性を高める教師
- ・組織で教育を実践する教師

活力ある桜堤中＝「チーム桜堤」「地域の桜堤中」

「輝く、桜堤中生」とともに、「笑顔」あふれる学校！

めざす学校像

- ・生徒一人一人の可能性を伸ばせる学校
- ・保護者や地域から信頼され愛される学校

<実態>：学校

・落ち着いた学習環境・生活環境の中で教育活動・学校運営が行われている。保護者、地域から協力・支援が得られている。

<実態>：生徒

・生徒は区内広域から登校している。落ち着いて学習に取り組む生徒が多い。何事にも一生懸命に取り組んでいる。「さくちゅう魂」に象徴される伝統をさらに発展させようとする意識が高い。

「千寿桜堤20th 咲き誇れ！さくちゅう魂！」

＝夢や希望をもち、自分を誇れる生徒の育成＝

「持続可能な学力と人間性の育成」

- ・「自ら考え、学ぶ人」★勤勉な生徒
：持続可能な確かな学力の定着を通して
- ・「感性あふれる、心豊かな人」★ルールを守り礼儀正しい生徒
：多様な感性と豊かな心の育成を通して
- ・「心身を鍛え、たくましく生きる人」★他者を思いやる生徒★夢を育む生徒
：社会性の基礎となる「自己有用感」の育成を通して
：「自己指導能力」「自律心」の向上と課題解決能力の育成を通して

学習指導の充実

- ・「学習コンテスト・単元テスト」の実施
- ・「目標達成キャンペーン」の実施⇒個々の目標値を設定
- ・「英語力向上」「楽しい授業」を展開⇒ALTの活用推進
- ・少人数・習熟度別指導等の指導方法の工夫・改善
- ・「達成感」「成就感」のある学習活動の工夫
- ・定着度を測り、補充学習の実施⇒家庭学習の定着

指導体制の工夫

- ・学習活動の保障⇒生活指導員等の巡回⇒教職員の連携
- ・少人数・習熟度別指導等を活用した授業展開
- ・教科指導専門員による授業観察・授業改善
- ・安心して学習できる環境整備⇒相談活動の充実「心の声」他
- ・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー活用
- ・特別支援教室：『さくらルーム』を開設
- ・登校サポーター・部活動指導員などの外部人材の活用

実践内容

<学力向上アクションプランの実践>

- ・朝読書（月～金：15分）
- ・放課後補充学習（月～金：20分間）
- ・定期考査等で「目標達成キャンペーン」を実施
- ・授業研究をととした指導方法の改善（ICT機器活用推進）
- ・意欲を高める教材・教具の工夫（AIドリル活用推進）
- ・教員の授業力向上⇒相互の授業観察年間3回以上

確かな学力の定着＝学力向上

自己指導能力の向上

課題解決能力の育成

- ★自己存在感の感受
- ★自己決定の場の設定
- ★共感的な人間関係の育成★安全・安心な風土の醸成

きめ細かな学習指導と教員の授業力向上

- 結果分析と改善策を主眼にした授業の質の向上と授業改善
- 少人数・習熟度別指導等の指導方法の工夫・改善
- 目標を明確にもった教育活動の実践⇒自己指導能力の育成
- 「主体的に学習に取り組む態度の育成」⇔「達成感」「成就感」のある学習活動

保護者・地域との連携

- ・学校だより、学年だより、学級だより
- ・PTA活動との連携⇒サポーター制度の推進
- ・「開かれた学校づくり協議会」との連携
- ・職業講話及び職場体験の受入協力

各大学連携の推進

- ・学習ボランティア等の活用
- ・教育実習生の受入
- ・外部指導員の配置

小学校との連携

- ・年7回の合同研修会の実施
- ・足立スタンダードの徹底及び検証授業（年3回）
- <連携事業>
- ・「中学校見学会」の実施
- ・補充教室協力（夏季休業）
- ・部活動紹介
- ・連携授業：各分科会で実施（ICT活用推進）
- ・児童会生徒会交流事業

～質の高い授業を目指して～